

研究会申請書

提出日 2013 年 2 月 25 日

主 査	氏 名	石 田 崇																						
	所属・部科・職名	早稲田大学・メディアネットワークセンター・助教																						
	連 絡 先	〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1-51-15-03A TEL 03-5286-3290 E-mail ishida@it.mgmt.waseda.ac.jp																						
研究会名	IT 活用による次世代学習スタイル研究会																							
研究会の目的・ 主旨	大学教育における経営工学分野，特に統計学・情報分野と，語学教育，特に英語教育分野に焦点を絞り，IT を活用した学習を対象に将来の教育システムのあり方向を模索し，次世代学習スタイルとそのシステムを構築することを目的とする。 近年，多くの私立大学では e-learning システムが導入され，それなりの効果を上げている．特に，ブレンデッドラーニングにより知識獲得型の授業と，学生の自主的学習と教員が主導するゼミ形式をブレンドした授業形態に大きな期待が寄せられている。 本研究会では，従来取り組んできた，協働学習の開発と評価・電子書籍などの研究グループが SNS を視野に入れた上記分野の将来の学習スタイルを開発し，評価することから着手する．将来の授業形態について全員で議論する形で次世代学習スタイルを提言し，その構築を図る。																							
研究計画・方法 (具体的に)	現在，精力的に検討が続けられている公益社団法人私立大学情報教育協会「大学教育への提言」－未知の時代を切り拓く教育と ICT 活用－を参考に，e-learning に関する一連の開発の実作業（後述）を進めながら，その成果を利用しつつ全員で議論し，次世代学習スタイルの構築を図る。																							
予算案および 補助金希望額	予算案（補助金希望額） 151,822 円 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">内訳</td> </tr> <tr> <td>臨時雇賃金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>会議費</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>66,822</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td>10,000</td> </tr> </table>		内訳		臨時雇賃金	0	会議費	30,000	旅費交通費	10,000	通信運搬費	0	消耗品費	20,000	印刷製本費	15,000	諸謝金	66,822	支払手数料	0	委託費	0	雑費	10,000
内訳																								
臨時雇賃金	0																							
会議費	30,000																							
旅費交通費	10,000																							
通信運搬費	0																							
消耗品費	20,000																							
印刷製本費	15,000																							
諸謝金	66,822																							
支払手数料	0																							
委託費	0																							
雑費	10,000																							

研究メンバー (所属・氏名)	会員 主査：早稲田大学・メディアネットワークセンター・石田 崇 副査：岩手県立大学・ソフトウェア情報学部・後藤 裕介 青山学院大学・経営学部・玉木 欽也 湘南工科大学・工学部・鈴木 誠 早稲田大学・創造理工学部・後藤 正幸 早稲田大学・創造理工学研究科・三川 健太 非会員 早稲田大学・理工総研・平澤 茂一 早稲田大学・教育学部・中野 美知子 会津大学・短期大学部・中澤 真 (株) 日立製作所・情報システム部・梅澤 克之 サイバー大学・IT 総合学部・小泉 大城 早稲田大学・メディアネットワークセンター・須子 統太 アドソル日進 (株)・IT 先端センター・佐藤 一祐
予想される研究成果 の概略	研究計画・方法で述べた“e-learning に関する一連の開発の実作業”は既に研究グループのメンバーが取り組んでいる下記の項目を指している。なお、英語教育を取り上げている理由は、科目の文系・理系の特殊性を問わず検討の対象に含めるためである。 (1) クラウド時代の協働学習ツールとそのユーザビリティ (2) 英語教育と e-learning (3) モバイルラーニングと協働人材育成 (4) 電子書籍の開発研究 上記項目については、部会としてそれぞれ成果が望まれる。なお、(2)と(4)については、2013 年 3 月・情報処理学会全国大会でそれぞれ 4 件・3 件の報告予定である。 これに加え (5) 大学向け電子教材の試作と評価、およびその協働学習への応用 (6) モバイルラーニングとクラウド環境における e-learning コンテンツの評価と設計方法 (7) 次世代学習スタイルの提言とその構築 に関し、成果が望まれる。
学会等での研究成果 の公表計画（具体的に）	日本経営工学会，(a) 平成 25 年度秋季大会，(b) 第 14 回 APIEMS，および平成 26 年度春季大会を対象に、「統計学入門」，「コンピュータ入門」の分野で (1) 大学向け電子教材の開発・試作と評価とデモ (2) 電子教材を用いた協働学習の評価 (3) SNS による協働学習の評価 (4) 次世代学習スタイルの提言 に関し、報告する計画である。 また、早稲田大学・青山学院大学共催で 「次世代 e-learning フォーラム」 を 2013 年 11 月に開催する計画である。なお、2013 年 7 月 6 日に第 1 回、同年 12 月 21 日に第 2 回を開催している。
備考	

